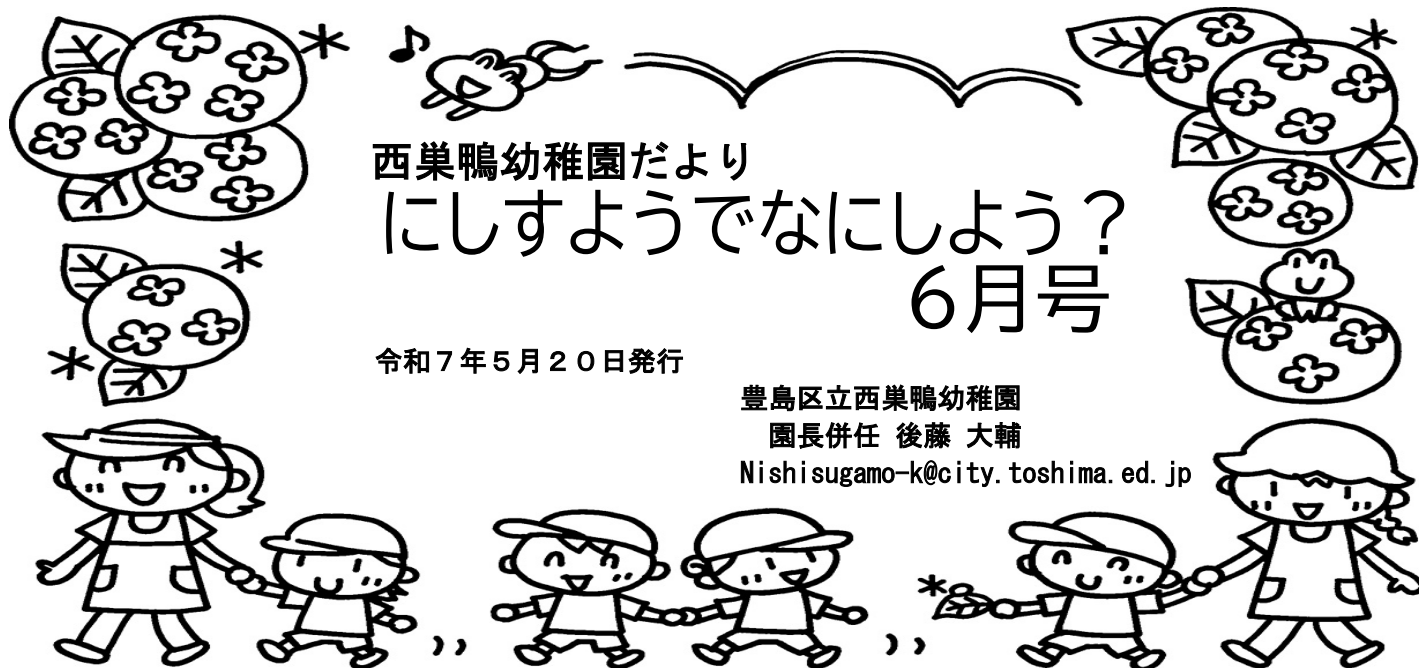




『本園の環境を生かして』

園長併任 後藤 大輔

園庭の桜やぶどうの木々の新緑が目には鮮やかな季節になりました。子どもたちが土を作り、鉢に苗を植えたパプリカやそら豆、なすやピーマン、畑のジャガイモ等、たくさんの野菜も賑やかに育っています。こうした日常的に触れられる自然環境の中で、子どもたちも自然に関わり、充実した活動を行うことができます。

5月9日には離任式があり、昨年度までお世話になった平野綾菜先生、島田結衣先生にお越しいただきました。昨年度、平野先生はほし組の担任で、島田先生もほし組の子に関わる機会が多かったですが、日常的にほし組ともも組の垣根が無く一緒に活動していたので、子どもたちはお二人の先生が大好きです。離任式でお二人にお会いしたときは、ずっとにこにこ笑顔で嬉しそうでした。

また、今年の離任式は子どもたちが司会等を務め、立派に進行してくれました。そうした経験も少ない人数だからこそ積むことができている経験でもあります。お二人の先生に「ありがとうございました」の気持ちが伝わる、とても温かい雰囲気 of 離任式になりました。

6月5日にはサンシャインシティの水族館見学に出かけます。そこで観た生き物や感じたこと等、子どもたちの思いや願いを生かしてその後の活動につなげていきます。

これからの季節は暑さにも気を付けながら、本園の環境を生かし、少人数だからこそできる豊かな体験を積み重ねながら、子どもたちの健やかな成長につなげていきたいと思ひます。

6月はこのような指導をします ほし組

- ・自分なりに目的をもち、繰り返し考えたり試したりすることを楽しめるようにしていきます。
- ・友達とイメージを共有して、アイディアを出し合って遊ぶことを楽しめるようにしていきます。
- ・遠足では、公共の場での過ごし方を守って行動できるようにします。また、水の生き物に興味をもてるような活動を取り入れていきます。